



市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎36-7117

今月のテーマ 「子どもを最優先にした学校づくり」 小中学校再編計画策定

近年、少子化の進展に伴う児童生徒数の減少が顕著になり、学校再編が全国各地で議論されています。当市においても、1990年度は小中学校合わせて1万2,576人いた児童生徒が、2020年度には7,547人となり、30年間で4割減少する状況にあります(合併前の金谷・川根町含む)。このため、現時点でもクラス替えができない「1学年1学級」や、2つの学年で1学級を編成する「複式学級」の学校が存在しています。

今後、さらに小規模化が進む中、変化の激しい社会を生き抜くため、子どもたちには集団の中で多様な考えに触れ、切磋琢磨せつさくたくますることを通じて、一人一人の資質や個性を伸ばすことが求められます。そのため、小中学校では一定の集団規模が確保されることが望ましいと考えます。

こうした時代背景を考慮し、当市では平成27年度から「島田市立小学校及び中学校の在り方検討委員会」が開催され、平成29年度からは「島田市教育環境適正化検討委員会」が設置され、委員会における協議のほか、地域や保護者への説明会を実施。平成30年9月に、学校再編の提言書が提出されました。



教育委員会定例会での審議

島田市教育委員会では、この提言を尊重しながら「子どもを最優先にした学校づくり」をスローガンに掲げ、その実現に向けて、地域や保護者の意見を聞きながら、パブリックコメントなども実施し、この度「島田市立小中学校再編計画」を策定しましたのでご報告します。

具体的には、北中学校と島田第一中学校の統合と、湯日小学校と初倉小学校の統合を、令和3年4月に実施します。また、伊太・相賀・神座・伊久美の各小学校と島田第一小学校との統合は、第一小の校舎改築が完了する令和6年4月に実施します。初倉南小学校と初倉小学校の統合については、小学校と中学校の校舎を同一敷地内に設置することにも話題が広がったため、保護者や地域の意見も踏まえ、更なる調査・研究が必要であるとの認識に至りました。初倉南小と初倉小の再編については、今後も検討を継続し、令和3年3月を目途に結論を導き出せるよう努めます。

統合の対象となる児童生徒および保護者の皆さんにとっては、通学の安全性の確保や精神的・経済的負担など、不安や心配が尽きないことと思います。遠距離通学になる地域については、スクールバスの運行を柔軟に検討してまいります。中学校の自転車通学については、距離等の許可基準を新たに定めます。また、統合前から学校間交流を進め、一つ一つの不安を解消できるよう丁寧に準備を進めてまいります。統合時に中学校3年生になる生徒については、統合後に使用する学校の制服などを支給または貸与します。統合に至るまでの詳細については、今後も「カリキュラム検討委員会」で協議してまいります。さらに、学校の跡地利活用については、「学校施設跡地利活用検討委員会」を地域づくりの観点などを踏まえ発足させました。5年かけて検討してきた結果を、ご理解いただきたいと存じます。

詳しくは、教育委員会へお問い合わせください。

「広報ひみ」から

姉妹都市である富山県氷見市から寄せられたイベント情報などをご紹介します。

氷見市ふれあいスポーツセンター横大芝生広場(氷見市鞍川43-1)をスタート・ゴールに「第16回氷見キトキトウオーキング」を開催します。

コース/▷11月2日(出) ①世界で最も美しい湾と万葉の故地めぐり(30km) ②史跡と白砂青松の海岸めぐり(12km) ③川沿い巡ってまんがロード(6km) ▷11月3日(日) ④ひみ「絶景」ぶどう畑と森林浴コース(20km) ⑤氷見海岸とまんがロード(10km) ⑥ふれあいの森とまんがロード(6km)

⑦ゆったりファミリーコース(3km)
参加費/1,000円(高校生以下500円、3歳未満無料)

※⑦は、1家族500円。
申込期限/10月1日(火)
※詳細はお問い合わせください。

㊟氷見キトキトウオーキング実行委員会(氷見市スポーツ振興課内) ☎0766-74-8446

